

人と自然が輝く高原のまち

神石高原町 第3次長期総合計画

令和7(2025)年度～令和16(2034)年度

概要版



令和7(2025)年3月
神石高原町

第3次長期総合計画の趣旨と役割

1.計画の趣旨

本町は平成29(2017)年3月に第2次長期総合計画を策定し、「人と自然が輝く高原のまち」を将来像に掲げ、今後のまちづくりの方向性や方策を住民と行政が共有し、一体となって取り組んできました。

第2次長期総合計画の期間中においては、人口減少社会、少子高齢化社会の加速、これまでにない規模の災害、異常気象、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行やウクライナへのロシアの軍事侵攻に伴う原油価格や物価の高騰等、町を取り巻く情勢は大きく変化し続けています。

こういった情勢の中で、本町は人口減少社会の岐路に立たされています。本町の令和2(2020)年の総人口は8,250人(国勢調査)で、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の将来人口推計では2060年に2,880人程度になると予想されています。

こうした状況を踏まえ、8年間行ってきた施策を土台として、国、県の動向との整合性に配慮しながら、本町がこれから取り組んでいくべき新たな課題に対応するため、令和7(2025)年度～令和16(2034)年度の10年間で計画期間とした第3次長期総合計画を策定し、町民との協働によるまちづくりを進めるための指針とします。

2.計画の役割

役割1 町の将来像・目標を町民と共有し、協働によるまちづくりを推進

役割2 各分野の方向性や実施事業の方針として

役割3 行財政運営のPDCAサイクルの指標として

3.計画の策定方針

●「神石高原町人と自然が輝くまちづくり条例」を踏まえた計画づくり

「神石高原町人と自然が輝くまちづくり条例」を踏まえ、同条例の趣旨に即した計画とします。

●最上位計画としての計画づくり

本町の最上位計画として、目指す将来像や方向性を明らかにし、まちづくりの長期的な指針となる計画とします。

●連続性・整合性のある計画づくり

本町のこれまでの様々な取組との連続性・整合性に配慮した計画とします。

●町民意向を反映した計画づくり

町民へのまちづくりアンケートの実施等を踏まえた、町民意向を反映した計画とします。

●「総合戦略」を内包化・一体化した計画づくり

「総合戦略」による人口減少対策を「総合計画」の重点プロジェクトとして内包化し、本町の将来像の実現に向けて一体的に取り組むことのできる計画とします。

●地域性・独自性のある計画づくり

地域の実情や歴史・文化を踏まえた、本町らしい計画とします。

社会を取り巻く環境とその展望

第2次長期総合計画策定以降、本町を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。第3次長期総合計画の策定に当たっては、その変化を踏まえた新たなまちづくりのあり方を検討する必要があります。

1. 少子高齢化の進展と生産年齢人口の減少
2. 災害の多発とポストコロナ社会
3. 脱炭素・循環型社会
4. DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展、普及促進
5. 多様な主体との連携による協働によるまちづくり

まちづくりビジョン

(1) まちの将来像

本計画においては、「神石高原町人と自然が輝くまちづくり条例」を踏まえるとともに、「神石高原町第2次長期総合計画」において設定した将来像を踏襲し、本町の目指すべき将来像として「人と自然が輝く高原のまち」を掲げるものとします。

(2) 基本政策と重点プロジェクト

基本政策1 高原の特徴を生かした快適で魅力に満ちたまちづくり

環境問題に対して脱炭素化の取組を進めるとともに、身近な生活環境の改善、地域コミュニティの活性化などにより、高原の特徴を生かした快適で魅力的なまちづくりを進めます。

基本政策2 福祉が充実した安心して暮らせるまちづくり

誰もが健康に生き生きと暮らせるよう、健康づくりや医療環境の整備を進めるとともに、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域の支え合いによる包括的なケアシステムの構築に取り組み、保健や医療、福祉が充実した安心して暮らせるまちづくりを進めます。

基本政策3 自然と歴史を生かした文化的なまちづくり

学校教育や生涯学習の環境向上を図るとともに、自然と歴史を生かした教育・文化の充実したまちづくりを進めます。

基本政策4 地域の資源を生かした活力あるまちづくり

農林業や商工業等の環境・基盤整備や6次産業化等により、地域産業の競争力を高め、就業者にとっても魅力のある地域産業にしていくとともに、観光・誘客によりにぎわいを生み出す取組等を通じて、地域資源を生かした活力ある産業と交流のまちづくりを進めます。

基本政策5 生活基盤の整った一体感あふれるまちづくり

高齢化等を背景に、交通手段の確保は一層重要な問題となっており、既存の地域交通の維持だけでなく、これを補完する仕組みづくりも視野に入れるとともに、ケーブルテレビやインターネット環境の向上等の取組により、交通・情報通信基盤の整った一体感あふれるまちづくりを進めます。

基本政策6 未来を見据えた持続可能なまちづくり

長期的な展望に立った公共施設のマネジメントに取り組むとともに、DX等の推進による効率的・効果的な行財政運営など、未来を見据えた持続可能なまちづくりを進めます。

重点プロジェクト

神石高原町デジタル田園都市構想総合戦略

デジタル活用等により、人口減少対策を強化・加速化させ、まちづくりビジョンにおいて掲げた将来目標人口の実現を図ることにより、本町の持続可能性の向上に取り組みます。

(3) 施策体系

将来像	基本政策	基本施策
人と自然が輝く高原のまち	1 高原の特徴を活かした快適で魅力に満ちたまちづくり	① 良好な生活環境の形成 ② 脱炭素化と環境・景観保全 ③ 地域コミュニティの育成
	2 福祉が充実した安心して暮らせるまちづくり	① 健康づくりの推進 ② 医療の充実 ③ 高齢者・障害者福祉の推進 ④ 子育て支援・定住対策の推進 ⑤ ふれあい、支え合いの地域づくり
	3 自然と歴史を生かした文化的なまちづくり	① 学校教育の推進 ② 生涯学習の推進 ③ 豊かな歴史と文化の継承 ④ 男女共同参画社会づくりの推進
	4 地域の資源を生かした活力あるまちづくり	① 農林業の振興 ② 商工業の振興 ③ 観光の振興 ④ 関係人口の拡大
	5 生活基盤の整った一体感あふれるまちづくり	① 道路・交通体系の整備 ② 情報通信基盤の整備
	6 未来を見据えた持続可能なまちづくり	① 官民・公民連携の推進 ② DXの推進と情報発信・活用 ③ 広域連携の推進 ④ 縮充社会の実現に向けて ⑤ 行財政改革の推進
	重点プロジェクト ～神石高原町デジタル田園都市構想総合戦略～	① 子育てしやすいまちづくり ② 地域産業の振興によるまちづくり ③ 移住・定住促進によるまちづくり ④ 安心して暮らせる持続可能なまちづくり



基本戦略1 子育てしやすいまちづくり

● 戦略の方向性

「出産・子育て期の切れ目ない支援」

1. 出産・子育て環境の充実

- (1) 親と子の居場所づくり
- (2) 相談事業
- (3) ファミリーサポートセンター運営
- (4) 小児科オンライン診療
- (5) 病後児保育 など

2. 出産・子育てへの経済的支援

- (1) 各種祝い金の支給
- (2) こども医療費の無料化
- (3) 保育料の無料化
- (4) 不妊・不育症治療費助成

3. 将来を担う人材育成

- (1) 教育環境の整備
- (2) 海外交流体験・英語教育の充実
- (3) 町内唯一の県立油木高等学校支援
- (4) 多様な主体による人材育成支援



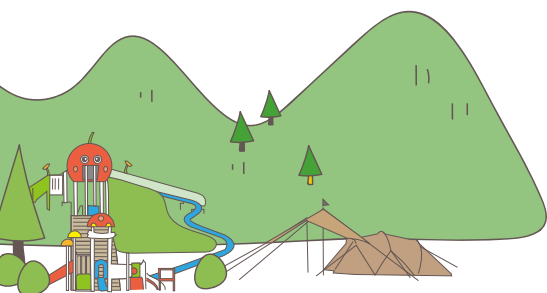
基本戦略2 地域産業の振興によるまちづくり

● 戦略の方向性

「地域経済の活性化と雇用の創出」

1. 地域産業の振興

- (1) 営農体制の確立、強化
- (2) 赤と黒のプロジェクト推進
- (3) 耕作放棄地の再生
- (4) 高収益作物への転換
- (5) 特産品開発及び販路拡大
- (6) 道の駅の活性化
- (7) 企業誘致の推進と起業支援
- (8) サテライトオフィスの拡充
- (9) 観光事業の推進 など

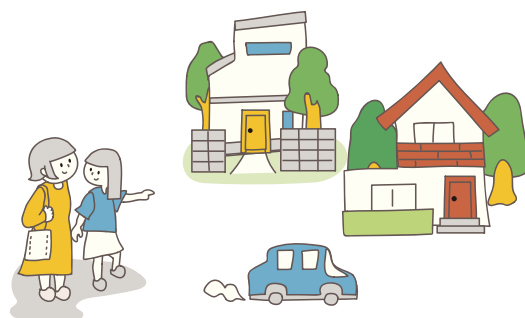


基本戦略3 移住・定住促進によるまちづくり

● 戦略の方向性

「移住・定住の促進」

- (1) 移住・定住情報の発信
- (2) 空き家情報バンク運営
- (3) 移住促進・空き家活用支援
- (4) 住宅等取得支援
- (5) 町営住宅・団地整備 など



基本戦略4 安心して暮らせる持続可能なまちづくり

● 戦略の方向性

「持続可能なまちづくり」

1. 住みやすいまちづくり

- (1) 協働のまちづくり推進
- (2) 地域防災力の向上
- (3) 生活交通対策

2. 活力あるまちづくり

- (1) 官民・公民連携による地域活性化の推進と団体支援

3. DX推進によるまちづくり

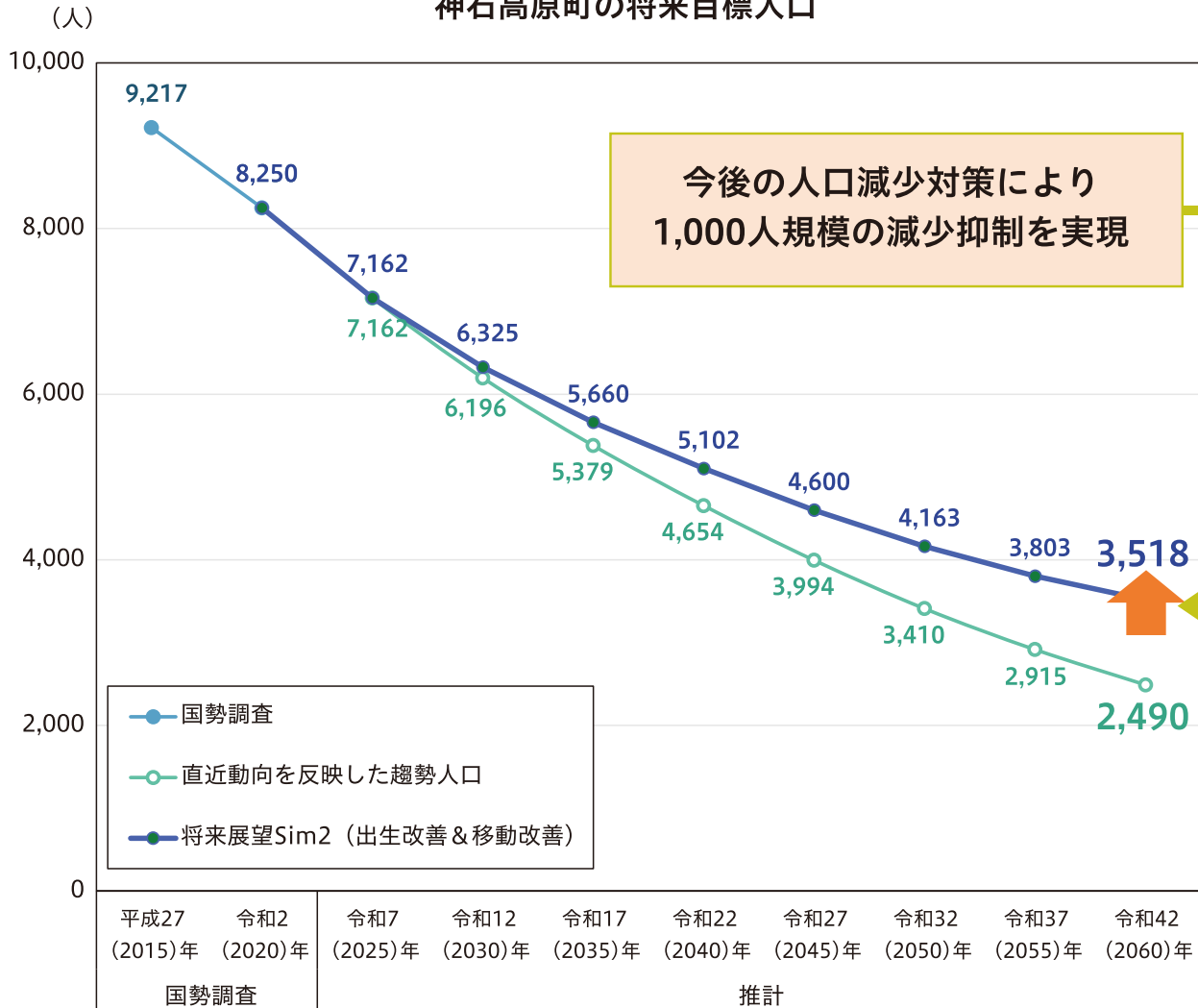
- (1) ICT(情報通信技術)の活用
- (2) 先端技術の活用 など



将来目標人口

将来人口シミュレーションの結果を踏まえ、本町では、将来展望Sim2により示された、令和42(2060)年における将来人口3,500人確保の実現を目指すものとします。

神石高原町の将来目標人口

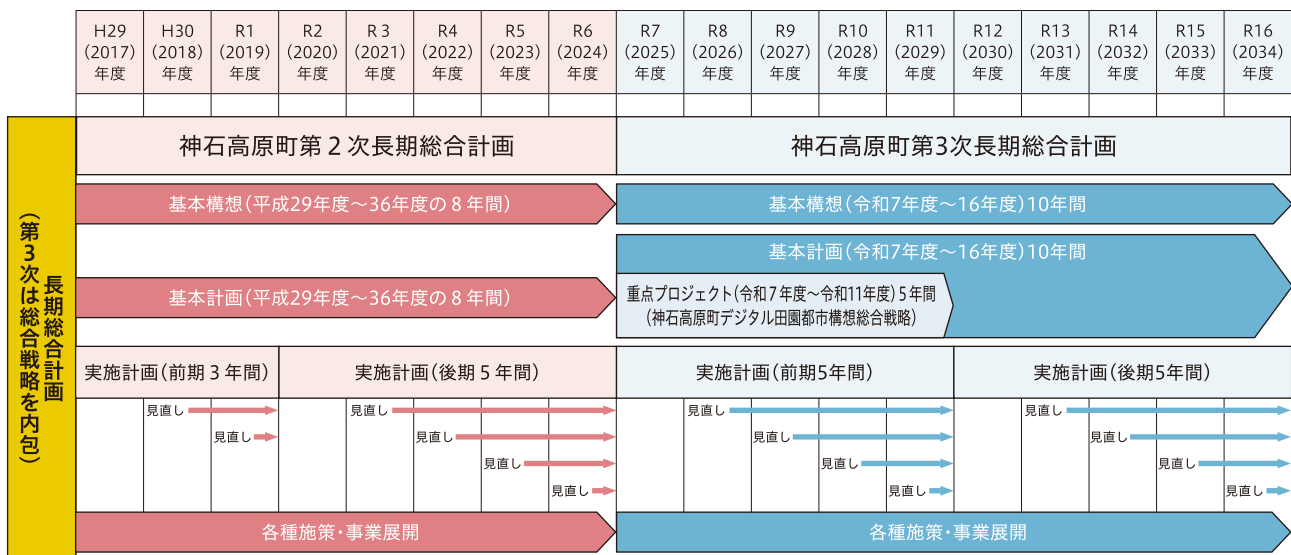


推計パターン	推計の概要
直近動向を反映した趨勢人口	社人研推計2023年を踏まえつつ、2020年の国勢調査以降の人口動向も反映させた推計(現時点で予測される将来人口)
将来展望Sim2 (出生改善&移動改善)	将来展望Sim1の仮定に加え、2025年以降の移動において39歳以下の追加的転入100人(5年毎)を仮定した推計

計画の構成と計画期間

第3次長期総合計画の構成と計画期間

構成	内容	期間
基本構想	長期的な指針としてまちづくりの基本理念や町の将来像や施策の大綱を示すものです。	令和7(2025)年度～ 令和16(2034)年度 (10年間)
基本計画	基本構想を実現するため、各分野の現状と課題を明らかにするとともに、行政評価によるPDCAサイクルを確立するため、施策の達成度を測る指標(KPI)を設定します。	令和7(2025)年度～ 令和16(2034)年度 (10年間)



※第3次長期総合計画後期計画に向け、令和11(2029)年度に基本計画、重点プロジェクト(神石高原町デジタル田園都市構想総合戦略)の改訂を行う。

神石高原町第3次長期総合計画

令和7(2025)年度～令和16(2034)年度

制作:広島県神石高原町 編集:政策企画課
〒720-1522 神石郡神石高原町小畠1701
TEL:0847-89-3351 FAX:0847-85-3394
URL:<https://www.jinsekigun.jp/town/>
発行 令和7(2025)年3月